

相馬郡

在宅医療・介護連携支援センターだより

創刊 第7号 令和8年4月

～相馬郡在宅医療・介護連携支援センター長就任 ご挨拶～

相馬郡医師会理事 / ふなばし内科クリニック 院長 船橋 裕司

この度、相馬郡在宅医療・介護連携支援センター「まるっと」のセンター長を拝命しました船橋と申します。

平素より、当センターの活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当センターは、令和6年4月に広域である相馬郡の組織として開設されました。

目的は、医療・介護の課題を明確にし、多職種連携の強化を図る事です。

そして、新道前センター長のもと、この2年間に想定以上の業績を上げる事ができました。

それまで、懸念材料だった行政の壁を越えての活動が可能になったことが大きな要因です。相馬郡医療・介護における課題の抽出を行い、1つ1つ対策を講じております。また多職種連携・同職種連携も進み、今ではお互い顔の見える関係が大きく広がってまいりました。

やがて、直面する「2040年問題」、団塊ジュニアの世代が皆高齢者となり、高齢者人口がピークを向かえます。同時に、生産年齢人口減少も一気に進み、医療・介護の需要と供給の大きなギャップが最大の課題となります。残念ながら、当地域においても例外ではなく医療・介護資源の減少を避けることはできません。そのためにもより強固な連携を構築し、情報共有と課題解決に取り組むためのこの地域の仕組みの形成に尽力してまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



相談支援

◆相談対応件数 ○令和6年度 36件 ○令和7年度 33件

- 日頃、抱えている問題やお悩みについてご連絡下さい。解決に向けて共に検討させていただきます。
- 気兼ねなくいつでもご相談ください。TELでも可

	包括	居宅	訪看	施設	医療機関		障がい	行政	住民	計
					地域内	県外				
R6	8	8	1	1	10	4	2	1	1	36
R7	7	6	1	5	3	4	1	1	5	33



内容によっては地域課題として抽出致します。

地域課題対応

◆同職種情報交換・交流会より

- 地域内施設入所用診断書の統一について▶診断書統一様式完成R8.3.2～運用開始 まるっとHPに掲載

◆運営委員会より

- 給食提供施設の食事形態・名称について▶食形態・名称一覧作成・配布R7.7.28より運用開始
R8年度まで経過観察期間とする・アセスメント予定(R8.4～5月)
栄養士関係職種の同職種情報交換・交流会開催予定
- ハラスメント対応について▶包括支援センター/居宅介護支援事業所職員にハラスメント実態調査施行
調査結果を各事業所に配布 R8年度ハラスメント対策管理者研修開催予定
- 訪問看護導入時のケアプラン作成について ●相馬薬剤師会と多職種連携について
▶R8年度多職種情報交換・交流会開催時ザックバランな意見交換をして頂く
- R8.6相馬歯科医師会より発信予定▶皆さまから歯科医師会へのご要望/ご意見/ご質問等承り中です!

地域住民啓蒙活動

◆人生会議・ACPIについて講和 ◆まるっとノート作成

- 出前講座4市町村ー令和7年度-7件190名対応
- 住民講座ー映画上映会「人生を」しまう時間とき」365名
- まるっとノートご希望の方に配布致します。まるっとHPからもDLできます。

◆令和8年度事業・・・

- 「まちづくり出前講座」登録ー南相馬市・相馬市

◆いつでも出前講座ご用命願います!!

- 住民講座ー映画上映会(秋ごろ)開催予定
ドキュメンタリー 「あなたのおみとり」



第4回まるっと研修会

「高齢精神障がい者への関わり方 地域包括ケアにむけて」



令和7年12月5日(金)開催 62名の多職種の皆さまが参加

講師：須藤 康宏 先生 医療人社団メンタルクリニックなごみ
副院長/臨床心理士/精神保健福祉士

●基調講演 ●事例紹介(精神担当訪問看護ステーション)●グループワーク

高齢者で精神疾患を抱える方との関わりを持つ多職種の皆さまにご参加頂きました。日々の対応に悩まれている方が多く、基調講演・事例検討・GWを通し、疾患に至った背景の理解、強みを生かしたアプローチ、支援の視点についてまた、多職種での関わり的重要性について深い学びを得ることができました。アンケート結果からも、効果的な研修でありました。再度、深く学べる機会を頂きたいと多くの声がありましたので令和8年度も開催検討中です。

相馬地域医療的ケア児対応研修会

「医療的ケア児対応について」

令和7年12月18日(木)開催 47名の多職種の皆さまが参加

講師：宮崎 恭平 先生 福島県総合療育センター 小児科/診療相談部長 主任看護技師
：鈴木 里美 様 福島県総合療育センター 主任看護技師

●基調講演 原則/合併障がい/技術面●医療的ケア児本人とご家族の思い●実技指導・演習

訪問やデイで対応されている専門職の皆さまは、所内や自己学習の上、緊張と不安を抱えながら対応されていました。今回、家族は最大の専門家であり、指導ではなく一緒に関わり成長を見守る事・その子を見る事が大切であるという対応の基本を学ぶ事ができました。

また、ご本人やご両親の思いをご教示頂いた事で、ご家族への寄り添い方について深く学ぶ事ができました。



■ 相馬薬剤師会と多職種情報交換・交流会 令和8年1月21日(水) 開催

情報交換・交流会

相馬薬剤師会からのご提案で、地域保健薬局の薬剤師の先生方と地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・訪問介護事業所・施設関係・相馬郡医師会・相馬歯科医師会の代表の多職種の皆さままで開催致しました。日本薬剤師会で提唱されています「地域医薬品提供体制のためのアクションリスト」について八牧会長からご説明頂き、在宅医療・介護の現状や課題について活発な意見交換がなされました。在宅医療や介護の場面において、保健薬局の薬剤師の先生方の役割や関りについて多くの事を知る事が出来ました。

■ 第7回「まるっと」同職種情報交換・交流会—相馬地域入所施設・施設長 令和8年2月18日(水)開催

入所施設の施設長及び関係職種の皆さままで開催致しました。地域内入所用診断書について診断所様式とその運用について最終協議を図りました。「相馬地域介護保険入所に係る診断書」は令和8年3月2日(月)から運用開始となりました。「まるっと」HPに様式と運用について掲載しておりダウンロード対応となっております。また、人材不足対応策等について多くの話題について意見交換されました。

ハラスメントアンケート調査

調査期間：R8.1月～2月(アンケート対象機関R7.2/1～R8.1/31)

対象者：地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の各職員

運営委員の地域包括支援センター・介護支援専門員代表者よりハラスメントについて声が上がりました。その実態把握として厚生労働省関連の調査内容を参考に対象者の皆様に調査を依頼させて頂きました。回収状況は、地域包括支援センター/管理者6名・職員38名(回収率100%)居宅介護支援事業所・看多機・小規模/管理者36名・職員77名(回収率95.6%)と日常業務ご多忙の折、御協力頂きましたことに感謝申し上げます。アンケートまとめ結果から、「まるっと」と

対応研修

開催日時：令和8年5月20日(水) 14時～16時

開催場所：かしま交流センター

講師：五十嵐 敦 先生 福島大学名誉教授/福島県産業保健総合支援センター相談員

対象：管理者および代表者または希望者の皆さま

相馬郡在宅医療・介護連携支援センターだより:開所3年目を迎えまして新たな体制となりました。これまでの皆様の御支援に感謝し、2年間の活動を糧に、関係機関との連携を深めながら今後の取り組みに活かして参ります。今後とも、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。また、新たな課題やご意見・ご要望等がございましたら、センターまでご連絡をお願い致します。

〒975-0002 福島県南相馬市原町区東町1丁目82番地 相馬郡医師会館内 2階

TEL:0244-26-5506 FAX:0244-23-5352

E-mail:marutto@somagun.org HP:https://www.so-marutto.jp/

〔発行・編集〕令和8年4月発行 相馬郡在宅医療介護連携支援センター「まるっと」

